

YA21415

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	後期	基本	経済学	高森寛	15	2

## 授業の目的

会計およびファイナンスの分野でのプロフェッショナル（専門職業人）として活躍できるためには、個々の企業や組織内の会計業務を処理できるだけでなく、より広く、企業を取り巻く経済の動向が読めなくてはなりません。産業と経済を動かす原理や仕組み、ダイナミクスを理解し、企業や組織が切り開くべき進路と戦略を洞察できる知識と素養を身につけることを目的とします。

## 授業の到達目標

ミクロ経済学の基本的な知識や概念を身につけることを、第1の目標として、経済学的な思考力を磨き、また、マクロ経済と金融経済についても、基本的な知識と概念を学びます。経済の諸現象を、具体的なモデルで、具体的に分析し、思考できるように、演習することを重視します。

## 履修条件

特になし。中学、高等学校程度の数学知識が望ましい。需要や供給と価格の関係を直線の式や図で表現して、議論できればよい。

## 授業計画

回	授業内容	日程
1	I. イントロダクション「経済学の十大原理」 モデルで、論理的に、考えることの重要性。経済現象を考察するにあたっての基本的な原理の紹介。費用という概念を再考する。「市場 (market)」とは何かを理解しよう。経済行動を限界費用、限界利益の追求で理解しよう。「均衡」という現象とそのモデル表現。	10月7日(木) ⑤19:30-21:00
2	テキスト1章。「需要と供給」 消費者の価値が表現される需要曲線とは。価格と需要、需要曲線のシフト、生産機会、機会費用、需要の価格弾力性、特化と交易の意義。需要曲線上の変化と需要曲線のシフト。	10月14日(木) ⑤19:30-21:00
3	テキスト2章. 需要曲線と消費者行動 市場と競争、価格と需要、需要と収入、需要と効用、消費者余剰、需要と供給の均衡、市場清算価格、需要と効用最大化の概念とモデル表現。	10月21日(木) ⑤19:30-21:00
4	テキスト3章. 「費用の構造と供給行動」 供給曲線。平均費用と限界費用。供給曲線のシフトと均衡の移動。機会費用、生産者余剰、供給の価格弾力性、利潤最大化行動と供給行動のモデル表現。	10月28日(木) ⑤19:30-21:00
5	テキスト4章. 「市場取引と資源配分」 市場と価格メカニズムの基本を理解する。資源の還流の仕組み、消費者余剰、生産者余剰の概念を理解する。計画経済と市場経済の違いはなにか。市場競争と経済発展、自由貿易の利点を学ぼう。資源配分の歪み、アダム・スミスの「見えざる手」とはなにか。	11月4日(木) ⑤19:30-21:00
6	テキスト5章. 「独占と競争の理論」 独占行動の理論、独占価格と資源配分への影響を理解する。完全競争と独占的競争の違いを理解する。退出行動と資源配分。	11月11日(木) ⑤19:30-21:00
7	テキスト6章. 「市場の失敗」 市場の失敗 について、理解しよう。外部経済・外部性、外部性と市場の非効率性、外部性に関する余剰分析、外部性の内部化、公共財に関する理論。	11月18日(木) ⑤19:30-21:00
8	テキスト7章 「不確実性と不完全情報の世界」 経済問題に含まれるリスクについて。モラル・ハザード。リスク分散と契約形態。不完全情報の経済学： レモン市場と逆選択。シグナルの理論。エイジェンシー関係とモラルハザード。	11月25日(木) ⑤19:30-21:00
9	ミクロ経済に関する中間試験 (60分)。 解答例と解説 (30分)。	12月2日(木) ⑤19:30-21:00
10	テキスト9章. 「経済をマクロからとらえる」 国民所得 GDP について、マクロ経済の鳥瞰 (Over Views) , 国内総生産、経済成長率、GDP に係る恒等式を理解する。国民所得勘定を会計学の観点から理解する：GDP の三面等価。マクロ経済における需要と供給、供給サイドからの GDP と需要サイドからの GDP を理解する。	12月9日(木) ⑤19:30-21:00

11	テキスト 10 章. 「有効需要と乗数メカニズム」 需要不足がもたらす不況。需要の決定とマクロ経済の均衡：所得・需要・生産の相互メカニズム。消費関数と生産・所得・需要の決定、投資と政府支出。所得水準決定の均衡方程式系を理解しよう。	12月16日(木) ⑤19:30-21:00
12	テキスト 11 章. 「貨幣の機能」 貨幣とは何か、貨幣の交換媒介機能。マネーストックと信用乗数。信用乗数とマネーストックの変化、ハイパワード・マネーを理解しよう。これらを複式簿記の視点から理解しよう。貨幣供給と物価、金利と貨幣需要曲線を理解しよう。貨幣の需給とインフレーション。	12月23日(木) ⑤19:30-21:00
13	テキスト 11 章. 「貨幣の機能：続き」 III. 貨幣供給と物価。貨幣数量式。マーシャルの $k$ 、貨幣需要と所得の関係に関するケンブリッジ方程式を理解しよう。貨幣量と物価。	1月13日(木) ⑤19:30-21:00
14	テキスト 12 章. 「マクロ経済政策」 貨幣需要曲線と貨幣供給曲線の均衡で決まる金利を理解しよう。財政政策と金融政策。資産市場と財市場の接点：利子率と GDP。金融政策と有効需要。	1月20日(木) ⑤19:30-21:00
15	テキスト 12 章. 「マクロ経済政策：続き」 財政政策とクラウディングアウト効果。マクロ経済政策をめぐる論争。フィリップス曲線の議論。フリードマンによる批判。ケインジアンと新古典派。	1月27日(木) ⑤19:30-21:00
試験	期末試験	2月3日(木) ⑤19:30-21:00

## 使用教科書／評価方法等

教科書	『入門経済学』伊藤元重著、日本評論社、2010年
参考書	『入門経済学』マンキュー著、足立他訳、東洋経済新報社、2010年
評価方法	期末テスト、またはレポート 40%、出席を含む授業への貢献度など 30%、宿題・課題・中間試験（または、レポート）等 30%
その他	適宜に、宿題、課題等を出し、授業講義の前に、回答をプレゼンテーションする人を指名し、課題について、ディスカッションします。